

福岡陸協各地区 理事長・総務部長・競技会運営担当者 様

令和7年4月14日
7 福陸協第4号
福岡陸上競技協会
会 長 藤井 一郎

安全な陸上競技、競技会・イベント等各種行事開催に関する配慮について（依頼）

近年、自然環境に起因する事故報告、安全な競技会・イベント等行事開催に関するさまざまな注意喚起がなされています。

特に、落雷および熱中症等には、充分、注意いただき競技会運営等を進めるようお願いします。

以下の注意事項や情報を関係者で共有し、準備を整えた上で、諸行事を実施するとともに、中止、延期を含め、適切に判断をするようお願いいたします。

記

- ① 開催施設、主催者と協力し、雷センサー、WBG 測定器、自動体外式除細動器などを準備し、諸行事を実施すること（状況により各地区陸協及び関係団体で具備しておくこと）
- ② 気象情報等を事前に入手し、その環境に合わせた対策を講じること（別紙資料等を参考に）
- ③ 運営関係者の中で、直近の情報等が手に入る体制を整えておくこと
- ④ 対応すべき事案が発生した際には、速やかに県陸協関係者（常務理事等）に報告等を行うこと
- ⑤ 日本陸連及び日本スポーツ協会、福岡県スポーツ協会等も発信している注意喚起を参考に、参加者への理解啓発を図ること
- ⑥ 危険が予想される際は、早めの中止、延期等の判断と参加者への周知連絡を図ること

本件問い合わせ先
一般財団法人福岡陸上競技協会
事務局 福岡市中央区鳥飼 3-3-12
092-724-6454

別紙資料

【資料】

<落雷への対応>

- ・ 状況を見て早めに中断し、避難等の対応を行う。
- ・ 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりした場合は、活動を中止し屋内に避難させる。
- ・ 参加者及び運営者（競技役員を含む）に的確に指示を出し、速やかに避難させる。

落雷の兆候やそれに係る対応等としては以下が考えられる。

- ・ 厚い黒雲が頭上に上がった際には、雷雲の接近に注意する。
- ・ かすかでも雷鳴が聞こえる際には落雷の危険がある。
- ・ 落雷の危険がある場合には、すぐに安全な場所（鉄筋コンクリートの建物、自動車、バス、列車等の内部）に避難する

このほか、気象庁ウェブサイトにおいて、雷注意報等の発表状況や、雷発生の感応性の高い地域が地図上で確認できる「雷ナウキャスト」などの情報が提供されているので、こうした情報の活用も考えられる。

【参考】落雷事故防止に関する参考資料

○ 事件・事故情報の共有・注意喚起について（屋外でのサッカー活動中における高校生の落雷事故の発生について）（令和6年4月5日付事務連絡）

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/hakusho/nc/jsa_00038.html

気象庁「全国の警報・注意報」

<https://www.jma.go.jp/bosai/warning/>

○ 気象庁「雷ナウキャスト」

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/toppuu/thunder2-1.html>